

平成28年度（第1回）
福岡市総合図書館運営審議会

日時：平成28年8月26日（金）

午前10時00分～11時30分

場所：福岡市総合図書館 第2会議室

〔次第〕

1 開会

館長挨拶

2 議事

議題1 会長・副会長選出について

議題2 平成27年度事業報告について

3 報告事項

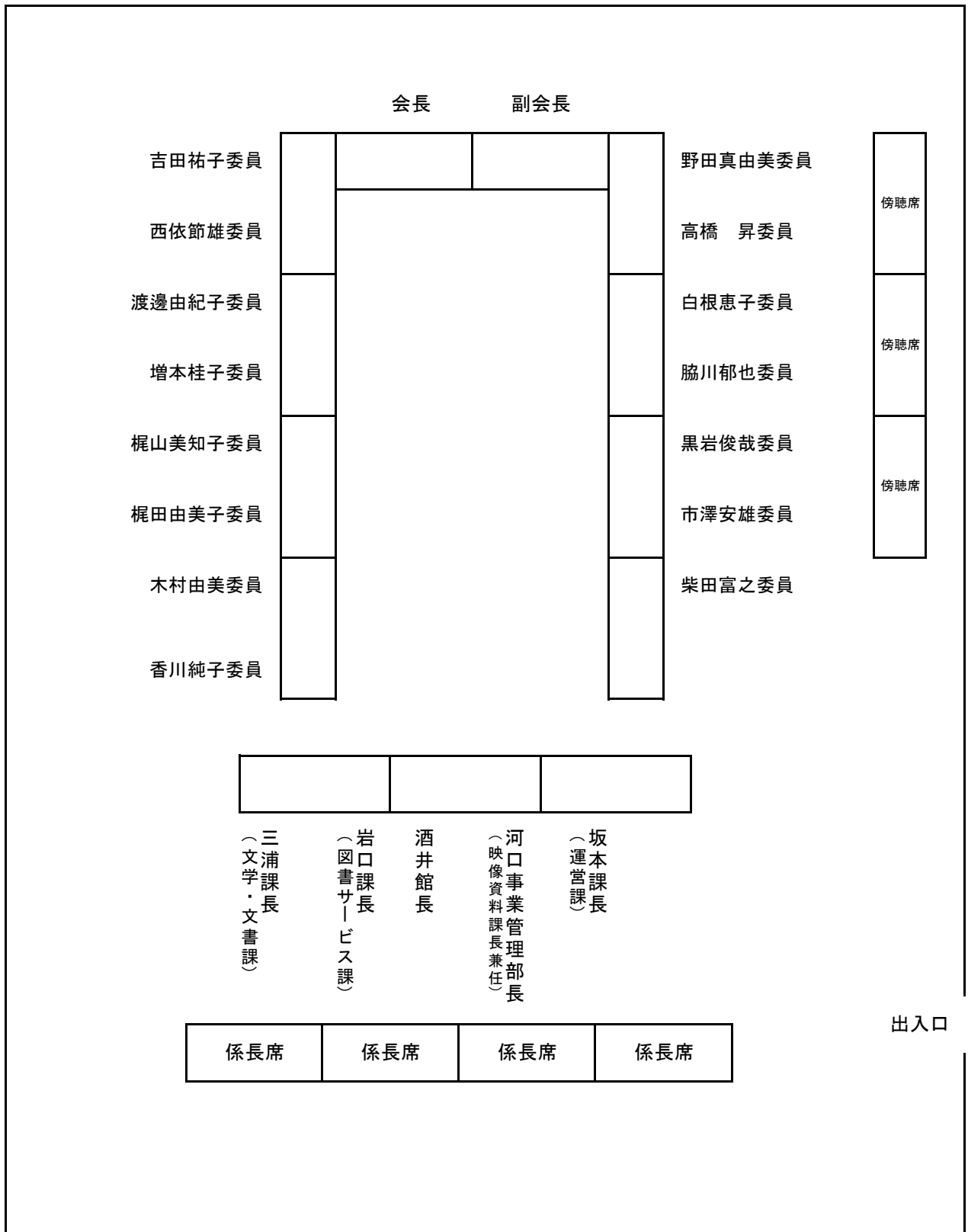
・平成27年度福岡市総合図書館の運営に関する評価について

（福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議の報告）

4 閉会

※ご希望される委員を対象に、閉会后、館内見学会を開催します。
（40分程度）

平成28年度 第1回 福岡市総合図書館運営審議会 座席表



平成 27 年度事業報告について

I 利用状況

図書館全体

○館別開館日数

開館日数については、蔵書点検期間の見直しを行い、長期臨時休館があった分館を除き、総合図書館、分館ともに前年度と比較し、拡大している。

(単位：日)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
総合 図書館	291	288	288
東 図書館	249 ※1	287	287
和白 図書館	290	287	289
博多 図書館	290	287	287
博多南図書館	290	287	287
中央 図書館	290	287	283
南 図書館	290	287	287
城南 図書館	290	287	289
早良 図書館	290	151 ※2	287
西 図書館	290	287	283
西部 図書館	290	287	287
分館平均	286	273	287

※1 東 図書館：移転準備のため2月1日～6月3日は長期臨時休館

※2 早良図書館：空調改良工事のため10月1日～3月31日は長期臨時休館

○入館者数

一日平均入館者数については、総合図書館は前年度比7.5%の減、分館は前年度比8.7%の減となった。全体の合計では一日平均13,340人であり、前年度比で8.2%の減となった。

(単位：人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均
総合図書館	1,642,032	5,643	1,757,239	6,102	1,809,714	6,284
分 館	2,201,432	7,697	2,302,710	8,435	2,413,875	8,411
合 計	3,843,464	13,340	4,059,949	14,537	4,223,589	14,695

図書資料部門

1 個人貸出

○新規登録者数

総合図書館と分館を合わせた一日平均の新規登録者数は、前年度と比較して5.4%の減となっている。

(単位：人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
総合図書館	10,338	36	10,796	37	12,366	43
分 館	14,999	52	15,175	56	17,338	60
合 計	25,337	88	25,971	93	29,704	103

○貸出利用者数

総合図書館と分館を合わせた一日平均の貸出利用者数は、前年度と比較して4.2%の減となっている。

(単位：人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
総合図書館	376,771	1,295	395,613	1,374	403,307	1,400
分 館	794,698	2,779	785,731	2,878	839,615	2,925
合 計	1,171,469	4,074	1,181,344	4,252	1,242,922	4,325

○貸出冊数

総合図書館と分館を合わせた一日平均の貸出冊数は、前年度と比較して4.8%の減となっている。

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
総合図書館	1,449,611	4,981	1,521,851	5,284	1,568,289	5,445
分 館	2,757,427	9,641	2,750,214	10,074	2,954,840	10,296
合 計	4,207,038	14,622	4,272,065	15,358	4,523,129	15,741

○自動貸出機の利用状況

自動貸出機・自動返却機の利用状況は、前年度と比較して、ほぼ横ばいとなっている。

(単位：冊／%)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用冊数	2,167,165 / 50.3%	2,206,470 / 50.4%	2,336,906 / 50.4%

○自動返却機の利用状況

(単位：冊／%)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用冊数	1,669,754 / 39.7%	1,584,218 / 36.9%	1,256,152 / 27.8%

○予約件数

予約件数は、前年度と比較して1.6%減となっている。

そのうちインターネット及び館内検索機による予約は734,040件で、数全体の87%を超えた。

(単位：件／%)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
インターネット	642,297 / 76.2%	647,971 / 75.7%	637,890 / 74.0%
館内検索機	91,743 / 10.9%	95,387 / 11.1%	101,281 / 11.7%
窓口・電話受付	108,492 / 12.9%	112,803 / 13.2%	123,142 / 14.3%
合 計	842,532 /100.0%	856,161 /100.0%	862,313 /100.0%

※平成 19 年 10 月からインターネット予約の開始

○図書館以外に設置している図書返却ポスト及び返却拠点の利用状況

利用者の利便性の向上を図るため、図書館外への図書返却ポスト及び返却拠点の設置を進めており、平成 27 年度は 9 箇所で行った。

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	合 計	一日平均	合 計	一日平均	合 計	一日平均
地下鉄博多駅	47,926	132	46,856	130	50,547	140
地下鉄別府駅	23,419	95	22,369	91	25,123	103
情報プラザ	39,108	109	36,853	102	38,519	107
入部出張所	10,893	30	10,492	30	11,791	32
西鉄薬院駅	14,503	41	13,316	37	14,520	41
地下鉄西新駅	20,378	70	22,553	77	21,132	72
福岡県立図書館	7,695	26	6,841	25	6,188	21
木の葉モール橋本	58,065	163	42,398	116	-	-
ふくふくプラザ	5,780	17	-	-	-	-
合 計	227,767		201,678		167,820	

※ふくふくプラザは、平成 27 年 4 月 1 日取り扱い開始

○「有料宅配サービス」の利用状況

自宅等で予約した図書の受け取りができる「有料宅配サービス」については、前年度に比べ 27.7%の増であった。

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用冊数	152	119	141

○福岡都市圏図書館等の広域利用

平成 13 年度から福岡都市圏 17 市町の住民を対象とした貸出を行っている。

前年度に比べ福岡市外の登録者数は 6.7%増加しているが、貸出利用者は 0.2%減、貸出冊数は 1.1%減であった。

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
総合図書館 の登録者計(人)	404,345	378,541	352,366
福岡市民	374,344	350,419	327,136
福岡市外 の居住者	30,001	28,122	25,230
都市圏全体 貸出利用者(人)	2,884,911	2,891,941	2,867,451
都市圏全体 貸出冊数 (冊)	11,607,185	11,736,363	12,113,615

○相互貸借利用状況

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
借 入	9,608	8,519	8,777
貸 出	6,090	7,338	6,811
合 計	15,698	15,857	15,588

○大学図書館とのネットワーク

平成 28 年度 4 月 1 日現在、9 大学 13 図書館と協定を締結している。

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
借 受	350	317	297
貸 出	158	190	224
合 計	508	507	521

○議会図書室との連携

平成 27 年 2 月から、市議会議員等の調査・研究を支援するため、議会図書室へ図書資料の貸出を行っている。

(単位：件，冊)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度
利用件数	39	4
貸出冊数	59	8

2 団体貸出

○団体貸出登録状況

団体貸出では、登録団体数は年々増加している。

(単位：団体，人)

区 分	平成 27 年度 (平成 27 年 4 月 1 日)	平成 26 年度 (平成 26 年 4 月 1 日)	平成 25 年度 (平成 25 年 4 月 1 日)
登録団体数	349	344	332
団体会員数	57,687	59,815	55,585

○団体貸出状況 (配本冊数)

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
児 童 書	195,621	195,597	200,086
一 般 書	33,296	34,003	36,369
合 計	228,917	229,600	236,455

3 調査相談

○図書資料の調査相談件数

レファレンス等の一日平均の調査相談件数は、前年度と比較して 12.4%増となった。

(単位：件)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均
レファレンス	107,950	374	99,031	352	95,338	331
利 用 案 内	93,574	324	75,478	269	74,288	258
合 計	201,524	698	174,509	621	169,626	589

○国立国会図書館のレファレンス協同データベース登録状況

平成 25 年 5 月から開始した国立国会図書館レファレンス協同データベースへの当館のレファレンス事例登録状況は、前年度比 20.6%増、事例被参照数は、2 倍以上の大幅増となっている。

(単位：件)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
事例登録数	76	63	82
事例被参照数	90,630	44,720	18,486

※全国の図書館等がレファレンス事例を登録し、図書館員や一般利用者に提供するシステム

○国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用状況

平成26年1月から開始した国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用者数は、160人の利用があり、2,229枚の資料を提供した。

区 分	平成27年度	平成26年度
利用者数(人)	160	148
複写タイトル数(件)	329	345
複写枚数(枚)	2,229	3,249

※国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料が対象

○利用者用インターネット情報検索端末サービス

総合図書館2階のパソコンルームにインターネットが利用できるパソコンを5台設置し、利用者自身がインターネットで情報を検索出来るサービスを実施した。

(単位：人)

区 分	平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
利用者数	7,749	26.6	7,374	25.6	7,636	26.5

○ホームページの複写サービス

インターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、同資料を収集し、複写サービスを提供した。

(単位：件)

区 分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用件数	35	26	5

4 読書行事

(1) 総合図書館

○読書活動ボランティア講座

地域における子どもの読書活動を推進するため、ボランティア養成講座や読み聞かせ、ストーリーテリングを実施した。

(単位：回，人)

区 分	平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
初心者コース	8	321	8	338	8	363
経験者コース	6	137	6	200	6	90
合 計	14	458	14	538	14	453

○おはなし会

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
おはなし会	96	3,528	98	4,148	101	3,947
こぐまちゃん おはなし会	12	930	12	1,287	12	1,076
こどもの日 特別おはなし会	1	204	1	174	1	189
一日 おはなし会	1	63	1	172	1	309
クリスマス 特別おはなし会	1	303	1	376	1	453
合 計	111	5,028	113	6,157	116	5,974

○布の絵本講習会

手づくり布の絵本作成の講習会を実施した。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
布の絵本講習会	6	539	12	1,080	6	577

○小学生読書リーダー養成講座

小学5～6年生を対象に、読書の意義、図書館の本の探し方、絵本の読み聞かせ等の講習を行い、学校図書館活動の実践での活用を図ることを目的に養成講座を実施した。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	認定者数	回数	認定者数	回数	認定者数
小学生読書 リーダー養成講座	2	195	2	138	2	140

○夏休み図書館の達人講座

小学4～6年生を対象に、夏休みの自由研究等にも役立つ図書館を利用した調べ学習の方法を学ぶことで、図書館の利用に関する基本的知識の習得を図ることを目的に講座を実施した。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
夏休み図書館 の達人講座	2	30	2	37	2	36

○福岡市ブックスタート事業

乳幼児の4か月児健診の機会に赤ちゃんに絵本を手渡すブックスタート事業で、絵本の読み聞かせの楽しみ方や赤ちゃんとの遊び方等を説明、実演するボランティアの研修を実施した。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
「絵本ふれあい タイム」 ボランティア研修	1	47	1	49	1	39

(2) 分館

○おはなし会 (分館合計)

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
どよう おはなし会	459	6,456	444	7,052	461	7,267
赤ちゃん おはなし会	140	5,756	111	5,634	116	5,890
※その他の おはなし会	36	1,738	33	1,486	31	1,250
合 計	635	13,950	588	14,172	608	14,407

※「どようおはなし会」「赤ちゃんおはなし会」以外の分館のおはなし会は、様々な名称があるため、「その他のおはなし会」として集約している。

5 学校図書館支援センター

○学校図書館支援センター

各学校が、学校図書館を効果的に運用できるよう、平成26年9月に、総合図書館内に学校図書館支援センター準備室を設置した。

平成27年4月から本格稼働し、「情報」「ひと」「もの」の観点から支援を行った。

区 分	平成 27 年度
相談業務 (件)	138
要請訪問 (回)	22
計画訪問 (回)	20
登録校数 (校)	27
貸出冊数 (冊)	936

※平成27年4月～ホームページを開設し、情報を配信中

文書資料部門

○文書資料の調査相談件数

文書資料部門では、一日平均のレファレンス件数、利用案内件数とも、前年度と比較して、ほぼ横ばいとなっている。

(単位：件)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均
レファレンス	5,647	19	5,339	19	5,100	18
利用案内	3,116	11	2,917	10	2,909	10
合 計	8,763	30	8,256	29	8,009	28

<主な普及活動>

○歴史的公文書の展示

歴史的公文書に対する市民の理解と関心を深めていただくための展示を行った。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ来場者数	回数	延べ来場者数	回数	延べ来場者数
歴史的公文書の展示	2	2,864	2	1,579	2	988

○古文書学講座

古文書に初めて接する市民を対象に、古文書学の基礎を学ぶ講座を実施した。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
古文書学講座	4	143	4	156	4	152

○文学館事業（企画展示）

福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する展示を行った。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	来場者数	回数	来場者数	回数	来場者数
企画展	1	2,500	1	3,847	1	5,353

○文学館事業（講座）

福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動に関する講座を実施した。

（単位：回，人）

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
企画展関連講座	2	34	1	42	1	76
読書講座	3	41	3	59	5	121
市民公開講座	4	60	4	181	1	140
赤煉瓦夜話	5	232	5	232	5	211
その他	3	59	—	—	—	—
合 計	17	426	13	514	12	548

映像資料部門

○入場者数

映像ホール・シネラとミニシアターを合わせた一日平均の入場者数は、前年度と比較して7.6%増加している。

（単位：人）

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均
映像ホール・シネラ	27,417	119	24,715	108	26,108	121
ミニシアター	6,384	22	6,635	23	6,942	24
合 計	33,801	141	31,350	131	33,050	145

○貸出数

ビデオ・CD等の一日平均の貸出数は、前年度と比較して9.6%減少している。

（単位：点）

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均
ビデオ等貸出	13,475	46	15,736	55	18,363	64
CD等貸出	49,775	171	53,401	185	54,020	188
合 計	63,250	217	69,137	240	72,383	252

○映像ホール・シネラ上映実施状況

映像ホール・シネラの運営等については、図書館と映像ホール・シネラ実行委員会が共催して行っている。

- ・通常上映事業：図書館で収集しているアジア映画や日本映画の収蔵作品を上映する。
毎週水曜日～日曜日（1日1回～3回上映）
- ・特別企画上映事業：他の映像関係団体等との共催による企画や、福岡で上映される機会の少ない映画を特集的に上映する。
- ・貸館上映事業：映像文化の振興・普及のため自主上映（非営利に限る）を行う希望者に、月末週の土曜日と日曜日のみ、映像ホール・シネラを有料貸出している。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ入場者数	回数	延べ入場者数	回数	延べ入場者数
通常上映	182	7,282	219	9,067	127	7,573
特別企画上映 (イベント込)	261	19,800	221	14,619	290	17,886
貸館上映	8	335	7	1,029	8	649
合 計	451	27,417	447	24,715	425	26,108

○講演会実施状況

特別企画上映事業に関連する各種講演会を実施した。

(単位：回，人)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
講演会	4	551	3	357	3	362

II 事業概要

図書館全体

1 分館整備事業

事業名	内 容	実 施
東図書館移転整備 (香椎副都心公共 施設整備事業)	東図書館の移転先である香椎副都心公共施設 (なみきスクエア) の建設工事が平成27年度末 に完了した。	平成28年 6月4日開館
新たな分館の検討	市民局において検討を進めている「早良区地 域交流センター」(仮称)について、整備地を UR四箇田団地用地とし、図書館部門も導入す る案が平成27年12月にまとまった。	関係部局と 継続協議

2 快適な空間づくり事業

事業名	内 容	実 施
やすらぎと交流の 場づくり	総合図書館の指定管理者公募時に、やすらぎ と交流の場づくりに寄与する企画提案を求めた。 また、将来に向けて、ビデオライブラリーの 空間を活用するプランを作成し、検討を行った。	平成28年4月1日 から総合図書館に 「語らいの場」を 設置するととも に、季節に応じた イベントを開催

3 効率的で効果的な図書館運営

事業名	内 容	実 施
指定管理者制度の 導入の準備	指定管理者の公募を行い、総合図書館(建物 管理等)及び東図書館(選書を除く図書館サー ビス等)の指定管理者を選定した。	総合図書館 平成28年4月1日～ 東図書館 平成28年6月4日～
	指定管理者の選定にあたり「福岡市総合図書 館に係る指定管理者選定・評価委員会」を設置 し、応募案の審査を行った。	第1回：平成27年 6月27日(土) 第2回：平成27年 9月14日(月) 第3回：平成27年 10月6日(火) 計3回開催

4 財源確保に係る事業

事業名	内 容	実 施
ふくおか応援寄付	図書購入費等の財源確保を目的に、ふくおか応援寄付制度による寄付の募集を、平成27年度から開始した。	平成27年度 寄付金収入 609,690円
広告収入の拡充	雑誌スポンサー制度による、図書資料等の寄付について、調査検討を行った。	継続検討中

5 利用時間の拡大

事業名	内 容	実 施
開館時間、休館日の見直し	総合図書館と東図書館について、平成28年度から利用時間の拡大ができるよう、必要な財源や体制の確保、規則の改正等を行った。	総合図書館 平成28年 4月1日から 東図書館 平成28年 6月4日から

6 市民との共働事業

事業名	内 容	実 施
図書館ボランティアとの共働	市民活動の場を提供するため、余暇（月2回、4時間以上）を活用して活動できる市民ボランティアを受け入れた。	継続56名 新規37名 総活動時間 2,756時間
インターンシップ制度の導入	各部門で検討し、九州インターンシップ推進協議会と連携して、次年度より受け入れを行うこととした。	平成28年夏期 に受入

7 研修事業

事業名	内 容	実 施
基礎研修	基礎的ビジネスマナーやコンプライアンス等の基礎研修を実施した。	図書館全体の各種基礎研修を5回実施
専門研修	図書館職員として専門知識や技術向上を目指す研修を実施した。	「区の特徴や課題等に関する研修」など各種研修を各部門ごとに実施
接客研修	各館の窓口での接客をより向上させるための基本的な研修を実施した。	平成27年 11月4日(水) 「接客・クレーム対応研修」実施 参加者：62名

8 危機管理対策事業

事業名	内 容	実 施
防災基礎研修	防火対策及び消防設備等の基礎知識を学ぶ研修を実施した。	平成27年 6月30日(火) 「防火防災講演」実施 参加者：100名
災害時避難訓練	火事・地震を想定した避難誘導訓練と消火器及び屋内消火栓の実地訓練を実施した。 また、消防局の協力によるAEDの操作訓練も実施した。	平成28年 2月2日(水) 「防災避難訓練」実施 参加者：100名

9 見学・視察等受入事業

事業名	内 容	実 施
見学・視察受入	小学校，中学校，高校，各種学校他，自治体，図書館関連機関等からの受け入れ要請に対し，受け入れを行った。	小中高・大学 延30校 695名 行政・議会 2件 24名 その他 13件 203名
バックヤードツアー	見学視察が比較的少なくなる11月から翌年3月にかけて，一般および親子を対象とする図書館の裏側を紹介するツアーを実施した。 (計8回)	一般(4回) 31名 親子(4回) 30組 81名

10 情報発信事業

事業名	内 容	実 施
メールマガジンの配信	イベント情報や各部門からのお知らせなどの情報発信については，メールマガジンだけではなく，Twitter，FacebookなどのSNSも活用することを検討し，運用ポリシーを策定するとともに，システムを構築した。	平成28年 5月20日から 配信サービス 開始
ホームページの改修	総合図書館の組織・予算や収集方針，新ビジョンや評価等を体系づけてまとめるとともに，学校図書館支援センターやふくおか応援寄付等の新たなコンテンツの作成，SNSやメールマガジン等の情報発信機能の付加等を行った。	随時実施

11 新ビジョンの推進

事業名	内 容	実 施
新ビジョンの進行管理と評価	新ビジョン事業計画に基づく，平成26年度の図書館運営についてのアンケート調査及び内部評価を実施した。 また，「福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議」を設置し，外部評価を行い，結果を公表した。	平成27年 7月8日(水) 点検評価会議 を開催

図書資料部門

1 図書資料の収集、整理・保存

○収集資料の充実

事業名	内 容	実 施
資料収集の充実	公共図書館としての役割を発揮するため、図書資料の収集方針の見直しを行い、新たに「福岡市総合図書館図書資料部門収集方針」を策定した。	平成27年10月1日から施行
東図書館移転整備	東図書館の移転準備として、子育て、環境、地域の歴史等を踏まえた東区の特長や地域課題に基づく資料収集を行った。	東図書館の開館前に準備

○図書資料の所蔵状況

区 分		平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
図 書		1,945,127 冊	1,947,037 冊	1,943,545 冊
逐次 刊行物	雑誌（寄贈を含む）	1,834 種	1,925 種	2,011 種
	新聞（寄贈を含む）	156 種	154 種	157 種
	法令集追録	6 種	6 種	7 種
	国会議事録他	2 種	2 種	2 種
マイクロフィルム		24,112 巻	24,064 巻	24,004 巻
CD-ROM, DVD-ROM		12 種	12 種	12 種
オンラインデータベース		8 種	7 種	7 種

※ 図書の冊数については年度末現在で、その他については翌年度4月1日現在での延べ数である。

2 レファレンスサービスの充実

事業名	内 容	実 施
電子メールによるレファレンスサービス	電子メールによるレファレンスサービスを実施し、利用者への図書館サービスの充実と利便性の向上を図る。	平成28年8月から開始
情報提供の充実	課題解決型サービスのひとつとして、平成28年度より、福岡県中小企業診断士協会の協力を得て、「起業・経営相談会」を開催し、図書館資料を活用した情報提供を行うことにした。	平成28年4月から毎月第2・第4日曜日に開催

3 各種図書館間協力ネットワークの構築

事業名	内 容	実 施
国立国会図書館 総合目録ネット ワークへの参加	公共図書館における資料の共有化，書誌サービスの標準化と効率化を図るため，ネットワークに参加し，当館書誌データの提供や，国立国会図書館及び参加図書館の書誌データ検索を実施した。 (参加館1,123館，うち書誌データ提供館66館)	平成12年 3月から参加 平成14年 7月から当館 書誌データの 提供開始

4 読書普及活動

事業名	内 容	実 施
企画展示	各部門及び各分館において，テーマを設定し，テーマに沿った図書の展示やブックリスト配布などを行った。 なお，10月は図書館マンスとし，全館統一のテーマを定め，各部門及び各分館においてサブテーマを設定し，図書の展示等を行った。	毎月

5 モデル児童図書目録の配布

事業名	内 容	実 施
モデル児童 図書目録の配布	モデル児童図書目録を希望者に配布し，あわせて目録掲載図書の展示を行い，周知を図った	総合図書館 及び分館で 配布

6 地域読書活動への支援

事業名	内 容	実 施
公民館等の 読書活動への支援	公民館や留守家庭子ども会等との協議は実施できなかったが，実用性重視の講習を加え内容を見直した地域文庫交流会を開催し，文庫活動の現状や課題，図書館に対する意見，要望等について，参加文庫による意見交換等を行った。	平成28年 3月10日（木） 地域文庫交流会 を開催 参加：14団体 20名

文書資料部門

1 文書資料の収集、整理・保存

○公文書資料の収集状況

平成 27 年度の公文書資料収集は、完結後 30 年経過した永年保存文書 436 冊と、保存期間が満了した有期限保存文書のうち歴史的文化的価値があると認められる 41 冊を収集し、その他委託文書等 40 冊を受け入れた。

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
公文書資料	517	221	142

○行政資料の収集状況

平成 27 年度の行政資料収集は、主に本市行政各部署が発行する刊行物等を中心に、984 冊を収集した。

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
行政資料	984	1,191	1,112

○古文書資料の収集状況

平成 27 年度の古文書資料収集は、古代、中世、近世及び近現代の郷土福岡に関する歴史資料として、藤史明資料、金山尚志資料（追加分）1,582 点の寄贈を受け、糟屋郡萬屋商店資料、博多・松尾家文書 他 570 点を購入した。

(単位：点)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
古文書資料	2,152	2,313	2,236

○郷土資料の収集状況

平成 27 年度の郷土資料収集は、福岡市を中心とする県内の各分野にわたる図書等 1,141 冊を収集した。

(単位：冊)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
郷土資料	1,141	996	1,153

○文学資料の収集状況

平成 27 年度の文学資料収集は、福岡ゆかりの作家等に関する資料として、413 点を購入し、80 点の寄贈を受けた。

(単位：点)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
文学資料	493	612	1,016

○文書資料の所蔵状況

文書資料の総数は、年々増加傾向にある。

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
公文書資料(冊)	29,336	29,073	29,199
行政資料(冊)	46,096	45,132	43,941
古文書資料(点)	71,727	69,575	67,262
郷土資料(冊)	99,739	98,598	97,603
文学資料(点)	22,532	22,039	21,427
合 計	269,430	264,417	259,432

2 公文書資料目録の作成

事業名	内 容	実 施
公文書資料目録 平成27年度版 (DVD)の作成	平成 26 年度までに収集・整理した公文書資料の簿冊及び件名目録の検索用DVDを作成するとともに、PDFデータをホームページに掲載した。	平成28年 3月作成

3 古文書資料目録の作成

事業名	内 容	実 施
古文書資料目録 21の発行	平成 27 年度までに収集した古文書資料の検索用目録を作成した。	平成28年 3月作成

4 郷土資料展示

事業名	内 容	実 施
郷土資料展示	郷土に関する市民の理解と関心を深めていただくため、レファレンスカウンター4前の展示スペースにて、様々なテーマで郷土福岡の歴史などを紹介し、読書案内のための展示を行った。	6つのテーマを定め、通年で実施

5 文学館事業（常設展示）

事業名	内 容	実 施
常設展示	福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する展示を行った。 会場：福岡市総合図書館 1階ギャラリー 赤煉瓦文化館 1階展示室	通年で実施 (企画展期間中除く)

6 委員会等

事業名	内 容	実 施
福岡市総合図書館 文書資料収集審査 委員会	所管する文書資料収集の適正化を図るため、 7名の委員により1回開催した。	平成28年 3月2日(水) 開催
福岡市文学館資料 委員会	福岡市文学館資料の充実と有効活用を図る ため、8名の委員により1回開催した。	平成28年 3月11日(金) 開催
福岡市文学振興 事業実行委員会	文学振興事業の企画と円滑な実施運営を 図るため、8名の委員により3回開催した。	平成27年5月14日(木) 平成27年9月9日(水) 平成28年3月15日(火) 開催

映像資料部門

1 映像資料等の収集、整理・保存状況

○映像フィルム収集状況

アジア映画を中心とした国内外の優れた映像資料を収集し、貴重な映像文化財として長期保存を行っており、平成27年度の映画フィルム収集は、購入6本、寄贈10本の合計16本であった。

(単位：冊)

区 分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
購 入	6	8	8
寄 贈	10	188	364
合 計	16	196	372

○映画フィルム所蔵状況

(単位：本)

区 分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
映画フィルム	3,271	3,255	3,059
内 訳	購入分	997	991
	寄贈分	2,274	2,264

○ビデオ等所蔵状況

(単位：点)

区 分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
ビデオ/DVD	6,000	6,300	6,300
CD/カセット	12,300	12,000	12,000
合 計	18,300	18,300	18,300

2 図書館外施設でのアジア映画上映事業

事 業 名	内 容	実 施
こんにちは！ シネラです。	総合図書館が収蔵しているアジア映画の作品を、図書館以外の市の施設で上映し、フィルムの有効活用を図った。	平成27年10月12日 (月・祝)上映 入場者：65名

3 委員会等

事 業 名	内 容	実 施
福岡市総合図書館 映像資料収集 委員会	映像資料の整備・拡充を図るため、東京と福岡で各4名の委員により各1回開催した。	平成27年5月13日(水) 平成27年5月27日(水) 開催
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ 実行委員会	福岡市総合図書館映像ホール・シネラでの上映等を開催し、その運営を円滑に行うため、8名の委員により1回開催した。	平成28年 4月21日(火) 開催

平成 27 年度 刊行物等一覧

(1) 刊行物

名 称	所管課	発行月	サイズ	ページ	部数	Web 閲覧
図書館要覧 (平成 27 年度版)	運営課	8 月	A 4	67	400	○
こどもとしょかんニュース	図書サービス課	年 6 回	A 3	1	2,500	○
こどもとしょかんのほんだな	図書サービス課	季刊	A 3	1	1,050	○
レファレンスだより	図書サービス課	毎月	A 4	4	300	○
クンドルニュース	図書サービス課	奇数月	A 4	1	700	○
福岡市文学館機関誌 「文学館倶楽部」	文学・文書課	10 月・3 月	A 4	12	各 4,800	—
ポリフォニー 「多くの音／声の饗宴－福岡の詩 1945-1965」展図録	文学・文書課 (福岡市文学振興 事業実行委員会)	3 月	B 5	60	1,000	有償販売
福岡市文学館選書 3 「那珂太郎はかた随筆集」	文学・文書課 (福岡市文学振興 事業実行委員会)	11 月	四六判	252	500	有償販売
平成 27 年度古文書資料目録 21	文学・文書課	3 月	A 4	171	500	有償販売
福岡市総合図書館研究紀要 第 16 号	文学・文書課	3 月	A 4	96	500	—
シネラニュース	映像資料課	毎月	A4	4	8,000	○

(2) インターネットホームページ

名 称	所管課	ア ド レ ス
福岡市総合図書館	運営課	http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/
福岡市総合図書館うえぶシネラ	映像資料課	http://www.cinela.com/

平成 27 年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価

平成 28 年 8 月
福岡市総合図書館

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

平成 28 年 7 月 6 日現在

(五十音順)

	所属等
梶田 由美子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
久保 ひとみ	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
島津 摩季子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)
高橋 昇 (委員長)	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
八尋 和郎	公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長兼 BIZCOLI 館長

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成果指標			
成果指標	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【平成30年度:85%】	75.5%	80.1% (+4.6)	84.2% (+4.1)
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした ※()は前年度からの増減			

目標数値			
目標数値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①入館者数 【平成30年度:5,500千人】	4,223,589人	4,059,949人 [-163,640] [-3.9%]	3,843,464人 [-216,485] [-5.3%]
②個人貸出冊数 【平成30年度:5,200千冊】	4,633,083冊	4,378,475冊 [-254,608] [-5.5%]	4,311,916冊 [-66,559] [-1.5%]
③貸出利用者数 【平成30年度:1,400千人】	1,290,720人	1,227,351人 [-63,369] [-4.9%]	1,217,508人 [-9,843] [-0.8%]
④新規登録者数 【平成30年度: 45千人】	29,915人	25,971人 [-3,944] [-13.2%]	25,337人 [-634] [-2.4%]

内部評価	事業別評価	
<p>〈評価〉</p> <p>成果指標は、利用者満足度調査3項目のうち最も低い「開館時間および休館日」についての84.2%を、平成27年度の「図書館利用者における図書館サービスの満足度」としたが、成果数値としては前年度から4.1ポイント上がっている。これは、平成28年度から総合図書館の開館時間を1時間延長する計画が影響しているものと推測される。一方で、目標数値は依然としてどの項目も減少傾向が続いている。</p> <p>事業別評価では、30事業のうち8割にあたる24事業については計画どおりに進めているものの、計画どおりに取り組んでおらず不十分と判断される事業が2割(前年度は16.7%)見られる。</p> <p>〈対応〉</p> <p>開館時間の拡大や東図書館の移転開館等により、誰もが楽しめる魅力ある図書館づくりを進め、利用者ニーズに対応していくとともに、平成28年度は総合図書館開館20周年記念事業等を展開し、利用者の増加につながるよう広報活動にも努めていく。</p>	A評価	9事業
	B評価	15事業
	C評価	6事業
	D評価	-

外部評価

・限られた予算や人員の中での様々な事業への取り組み及び達成は、利用者に対する高いレベルのサービスを持しながらの中では、容易ではないことは十分に理解している。しかしながら、目標数値減少の原因を早急に分析して対処することは、図書館職員の責務である。今後、より魅力ある充実した図書館となることを大いに期待している。

・満足度の上昇にもかかわらず、利用者数が減少していることを検討する必要がある。新規登録者を増やす工夫が必要である。図書館で行っている活動やイベントをもっと広く市民に知ってもらうことは大切である。限られた予算で様々な取り組みを充実させていくことはたいへんだが、引き続きご尽力願いたい。

・個々の事業計画については地道に取り組み続けられており、評価できるものも複数あるが、一方で利用者数等の減少は続いている。全国的に図書館の存在価値が見直され、その専門性を生かした支援、サービスがますます求められる傾向にある。新ビジョンの基本理念をもとに、公立図書館の果たすべき役割を再認識しながら計画を進めてほしい。より充実した資料、専門性の高い人材の確保も考えてほしい。

・資料購入費の増額、ホームページの容量拡大、貸出ポイントの設置等、予算に盛り込むべき項目に改善が求められる。ボランティアとの共働にも工夫が必要。さまざまな課題に柔軟に取り組んでほしい。

・ひとつひとつの事業については、概ねよく実施されている。しかし、全体を通してみたときに、利用者数が減少している現状をどのように打開しようとしているのかが不明。内部評価が平均してBであるにもかかわらず、利用者数が減っているということは、何かもっと対策が必要ではないのか。A評価の事業であっても、もっと徹底的にやってもよいのでは。満足度が上がっていても利用につなげていないということは問題が大きい。イベントが利用者数にどう結びつくかの費用対効果の検討も必要である。また本当に議会図書室との連携ができるのか、検討する必要がある。私の知る限り、議員の議会図書室の利用そのものが減っている状況で、何をどう連携するのか、今ひとつ不明。新しいまちづくりなどを学びたいという議員のニーズに、適確に応えられるか等、検証した方がいい。

事業別評価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	9事業	A評価	11事業	A評価	4事業	A評価	5事業	A評価	8事業
B評価	13事業	B評価	13事業	B評価	16事業	B評価	14事業	B評価	14事業
C評価	8事業	C評価	6事業	C評価	10事業	C評価	10事業	C評価	8事業
D評価	—	D評価		D評価	—	D評価	1事業	D評価	—

<評価の基準>

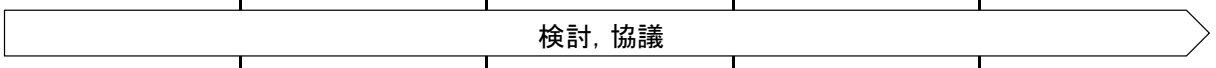
福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

○福岡市総合図書館新ビジョン事業計画一覧表

	図書館像	項目	内容
1	誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	分館の新設
2			貸出・返却拠点等の新設
3		利用時間の拡大	開館時間、休館日の見直し
4		図書館イベントの充実	図書館イベントの充実
5		快適な空間づくり	やすらぎと交流の場づくり
6			館内レイアウトの変更
7	さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	資料収集の充実
8			レファレンス(相談)サービスの充実
9			情報提供の充実
10			ホームページの複写サービス
11			無線LAN環境の整備
12		地域読書活動への支援	団体貸出先の拡大
13			公民館等の読書活動への支援
14		市関連施設の図書室 の相互協力	議会図書室との連携
15			市施設の図書室との相互協力
16		子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及
17	新一年生への貸出カードの付与		
18	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への広報活動の強化		
19	読書活動ボランティア講座の強化		
20	学校図書館への支援		学校図書館支援センターの設置
21	総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の強化	図書館外施設でのアジア映画上映事業
22			広報活動の強化
23		文書資料部門の強化	歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化
24			古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化
25			福岡市文学館の利用拡大
26	効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	運営方法(民間活力の導入)の検討
27			図書館ボランティアとの共働の推進
28			職員の育成及び技術向上
29			施設の有効活用などによる財源確保
30			情報発信の推進

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	地域交流センター等の整備検討に併せて、新たな分館の新設を検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
					
平成 27 年 度					
計画	<p>市民局において、整備に向けた基本構想の策定、事業手法等の検討を予定していることから、総合図書館においても次の項目について取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早良区地域交流センター内に図書館機能(分館)を設置することについての教育委員会としての方針及び市民局への申し入れ ・分館の運営方針やコンセプト等の検討・策定 等 				
取組状況	<p>第9次福岡市基本計画に基づいて整備検討されている地域交流センター(早良区中南部地域)内に分館を設置する旨を教育委員会内で方向づけ、市民局から同センターの整備地をUR四箇田団地内の南側用地とすること、その機能のひとつとして図書館部門を導入すること等が、平成27年12月議会・第一委員会において市の整備方針として報告された。</p>				
平成 28 年 度					
計画	<p>平成28年度の市全体のスケジュールの中で、早良区地域交流センター(仮称)の基本構想・基本計画の策定、基本設計等が予定されていることから、教育委員会においても、分館の運営方針やコンセプト等の検討を行っていく。</p>				
内 部 評 価					
<p>分館の新設は、地域交流センターの整備検討スケジュール全体の中で、検討を進めてきた。分館新設については市の整備方針のなかで位置づけることができ、ほぼ計画どおりの進捗状況であると考え、同センターの基本計画策定が平成27年度から平成28年度に変更されたことにより、分館の運営方針やコンセプト等を平成27年度中にまとめるには至らなかった。</p>					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・整備検討スケジュール全体の中で、図書館として独自の方針、コンセプト等を検討し、早急にまとめる必要がある。 ・早良区地域交流センターの基本計画を集中的に検討し、早期実現を目指してほしい。 ・分館は市民にとって身近な存在であり、今後、運営方針やコンセプト等について、十分な検討と充実した内容を期待する。 ・いつでも分館計画を出せるようにまとめておく必要がある。そうしないと全体計画の流れに押し切られてしまう。 					<p>A : 0 B : 4 C : 1 D : 0</p>

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	図書館サービスが行き届かない地域に対して、交通の便の良い公共施設などに図書の貸出・返却拠点の新設を推進し、図書館利用者の利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討、協議				
	◇設置		◇設置		
平成27年度					
計画	平成27年4月1日より、ふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室カウンター窓口にて返却受付を開始し、併せて、上半期中に、ふくふくプラザ1階入口付近に返却ポストを設置する予定である。 その他の拠点については、南区南部エリアの中で候補施設を調査し、その結果に応じて拠点設置の協議や手続きを進める。 ※平成27年4月1日より、ふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室カウンター窓口にて返却受付開始した。また、同年8月1日より、ふくふくプラザ1階入口付近に返却ポストを設置する予定である。				
取組状況	平成27年4月1日より、ふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室カウンター窓口にて返却受付を開始し、8月1日より1階入口付近に返却ポストを設置した。 さらに、南区南部エリアの拠点として、九州がんセンター(南区野多目)に設置する返却ポストの準備を行った(平成28年4月1日より供用開始予定)。				
平成28年度					
計画	平成28年4月1日より九州がんセンター(南区野多目)に返却ポストを設置する。 また、東図書館指定管理者の代表団体である株式会社紀伊國屋書店の市内店舗(博多バスターミナルもしくはゆめタウン博多)における返却ポストの設置を検討する。				
内部評価					
返却拠点については計画どおりの進捗であったが、貸出拠点については進捗がなかったため、B評価とする。					B
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・貸出拠点について進捗がないため、計画どおりではないと判断する。予算や人員が必要であることは承知しているが、計画した以上、検討が必要である。 ・予算は必要だが、もっと積極的に具体的に調査をして、貸出・返却拠点を増やしてほしい。 ・貸出拠点の設置が進まないのは残念。財政面の課題はあるが、他市の調査等も行い、ぜひ進めてほしい。 ・返却ポストの新設ばかりで、ネット予約した図書を借りることのできる貸出ポイントの計画がない。 					A : 0 B : 2 C : 2 D : 1

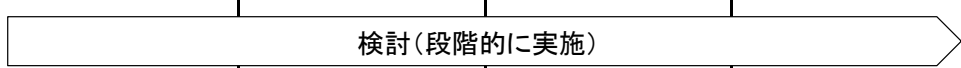
平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の拡大	
内容	開館時間, 休館日の見直し			
事業計画	休館日及び開館時間の見直しを行い, 図書館を利用できる時間を拡大することにより, 図書館利用者の利便性の向上を図ります。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	【休館日】 検討(段階的に実施) →			
	◇全館		◇東	
	【開館時間】 検討(段階的に実施) →			
		◇総合, 東		
平成27年度				
計画	平成28年度からの指定管理者制度移行のため, 外部委員からなる「福岡市総合図書館に係る指定管理者選定・評価委員会」を設置し, 総合図書館, 東図書館それぞれ公募を行い, 平成27年12月議会で指定管理者の指定を行うことができるよう必要な準備作業を進めていくとともに, 規則の一部改正を行う。 指定管理者制度の導入による財源の再配分により, 移行後は総合図書館については開館時間の拡大, 東図書館については開館時間の拡大及び休館日の縮小による図書館サービスの充実を図る。 なお, 市の図書館全体における休館日及び開館時間の見直しについては, 継続的に検討していく。			
取組状況	総合図書館および東図書館について, 事業計画どおり平成28年度から利用時間の拡大ができるよう, 必要な財源や体制の確保, 規則の改正等を行い, 実施に備えた。			
平成28年度				
計画	総合図書館について4月1日から開館時間の延長, 東図書館について6月4日から開館日・開館時間の拡大を実施する。 利用時間の拡大については, 成果や内部事務への影響等を検証するとともに, 市の図書館全体において継続的に検討していく。			
内部評価				
事業計画にあげている総合図書館, 東図書館については, 利用時間拡大に向けた必要な準備を行い, 平成28年度からの実施を可能とした。				A
外部評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに実施と判断する。 ・今後, 市の図書館全体に広がってほしい。 ・利用時間拡大については評価するが, そこからくる内部事務への影響の検証についても, しっかり取り組んでほしい。 ・中央館の火曜閉館を検討すべきである。 				A : 3 B : 1 C : 1 D : 0

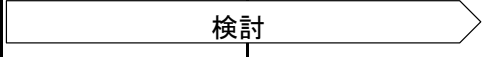
平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
事業計画	成人を対象とした読書会等を実施し、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		計画	大人向けイベントの実施		
平成27年度					
計画	市民の有志で開催している読書会を見学するなど、事例の研究を進め、その内容に基づき、成人を対象としたイベントの企画を立案し、平成28年度の本格実施に向けて分館等で試行する。				
取組状況	成人を対象とした読書会については、分館(和白, 中央, 西部)において試行し、その後も継続実施した。また、本館及び博多南図書館では、講談社全国訪問おはなし隊のキャラバンカーを誘致して、屋外で自由読書及びおはなし会を実施するほか、博多図書館では、館が入居する市民センター前広場で、「はかた図書館ブック市」と題し、①リサイクル本の無料配布会②一般参加者が出店した古本のフリーマーケット③絵本と歌の屋外おはなし会④ハロウインの衣装づくりとパレード⑤ビブリオバトルといった多彩なイベントを実施した。				
平成28年度					
計画	総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。				
内部評価					
成人を対象とした読書会を分館で計画どおり試行するほか、本館や分館で読書普及や市民交流に向けたイベントを開催するなど図書館イベントの充実に努めたことから、A評価とする。					A
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ計画どおりに実施と判断する。今後も多彩なイベントの充実を期待する。 ・成人対象だけではなく、子ども対象のイベントについても、更に充実を図ってほしい。 ・さまざまな取り組みがもたれたことについては評価できるが、個々の企画が読書普及につながっていくよう、検証についても取り組んでほしい。 ・本とのかかわりを持つイベントの充実を更に進めてほしい。 ・さまざまな取り組みは評価できる一方で、利用者の増加につながっていない。満足度を上げることにはつながっていない。 					A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり	
内容	やすらぎと交流の場づくり			
事業計画	誰もが気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごし、くつろぎ楽しむ、潤いややすらぎの場となるよう、エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し、快適な空間づくりを行います。 また、広場等を活用したイベントを実施していきます。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		<div style="text-align: center;">  </div>		
		◇エントランス, 広場		
平成27年度				
計画	エントランスホールや正面玄関前広場等を活用した快適な空間づくりのため、市民ニーズの把握を含めた民間コンサルタントによる調査を行い、それに基づいて検討を進めていく。 また、平成28年度からの総合図書館の建物管理業務については、指定管理者制度へ移行することとしており、その公募において、やすらぎと交流の場づくりに寄与する企画提案を指定管理応募者に求めることとしている。			
取組状況	民間コンサルタントによる調査については、とくにビデオライブラリーの空間を活用するためのプランづくりを行い、人が集いコミュニケーションができるエリア形成の検討を行った。 また、総合図書館の指定管理者(建物管理)公募時に、エントランスホールや正面玄関前広場等を活用したやすらぎと交流の場づくりの実現に向けた企画提案を求め、選定にあたっては、その企画提案内容も評価の対象とした。			
平成28年度				
計画	平成27年度に作成したビデオライブラリー等活用プランをもとに、快適な空間づくりに向けての新たな機能等の方向性を検討のうえ、平成29年度以降の実現を目指す。 エントランスホールや正面玄関前広場については、指定管理者により、「語らいの場」の設置や、節句祭、納涼祭など季節ごとのイベント実施を行う予定である。			
内部評価				
民間コンサルタントによる調査の実施にあたっては、着手の遅れから、市民ニーズについてはアンケート調査等は実施できず、これまでに寄せられてきた利用者からの意見(持込パソコンの利用や談話ができる空間などの要望)をもとに、静粛性の確保やコミュニケーション、活動の場といった観点から検討を進めた。 エントランスホールや正面玄関前広場等の活用にあたっては、図書館の特性を生かした指定管理者企画事業を提案する応募者を指定管理者として指定した。				B
外部評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ検討段階であるが、計画どおりに進捗していると判断する。市民ニーズについては早急にアンケートを実施し、検討されたい。 ・エントランスホール等の利用については、積極的に市民の意見を取り入れてほしい。 ・企画内容や広報等についてはまだ不十分である。他市の調査、市民の声を取り入れる工夫してほしい。「図書館の特性を生かした」という視点は、今後も大切にほしい。 ・図書館であることを忘れずに行動してほしい。 				A : 0 B : 4 C : 1 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	館内レイアウトの変更				
事業計画	文学資料エリアのリニューアル、ビデオライブラリーの見直し及びカフェスペースの設置などを行い、図書館の魅力の拡大を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				◇文学資料エリア, ビデオライブラリー, カフェスペース	
平成27年度					
計画	館内レイアウトの一部見直しのため、市民ニーズの把握を含めた民間コンサルタントによる調査を行い、それに基づいて検討を進めていく。				
取組状況	民間コンサルタントによる調査については、とくにビデオライブラリーの空間を有効活用するためのプランづくりを行い、人が集いコミュニケーションができるエリア形成の検討を行った。				
平成28年度					
計画	平成27年度に作成したビデオライブラリー等活用プランをもとに、快適な空間づくりに向けての新たな機能等の方向性を検討のうえ、平成29年度以降の実現を目指す。				
内 部 評 価					
民間コンサルタントによる調査の実施にあたっては、着手の遅れから、市民ニーズについてはアンケート調査等は実施できず、これまでに寄せられてきた利用者からの意見(持込パソコンの利用や談話ができる空間などの要望)をもとに、静粛性の確保やコミュニケーション、活動の場といった観点から検討を進めた。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ検討段階であるが、計画どおりに進捗していると判断する。市民ニーズについては早急にアンケートを実施し、検討されたい。 ・アンケート調査を早急の実施し、市民ニーズを充分に取り入れて欲しい。 ・静粛性の確保など図書館の特性を大切にしながら検討を進めてほしい。市民の声や知恵も上手に取り入れてほしい。 ・親子が声を上げて成人の利用者に差しさわりのない「子ども図書館」のスペースを作る必要がある。 					A : 0 B : 3 C : 2 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、図書資料の収集方針の見直しを行い、計画的な資料収集に努めるとともに、電子書籍の取り扱いについて検討します。 分館においては、地域の実情にあわせて特色を持たせた資料収集を行っていきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 収集方針改定 </div>				
平成27年度					
計画	<p>図書館資料収集方針については、平成27年7月末を目途に内容を確定させる予定である。</p> <p>電子書籍については、他都市の状況調査などを基に、導入のメリットとデメリットを整理しながら検討を進める。</p> <p>分館における資料収集については、地域の実情にあわせて特色を持たせるための考え方を分館毎に整理し、資料収集に反映させる。</p>				
取組状況	<p>図書館資料収集方針については、平成27年8月に内容を確定し、総合図書館ホームページで公開した。</p> <p>電子書籍については、検討中である。</p> <p>分館における資料収集については、収集に関する考え方を分館毎に整理した。</p>				
平成28年度					
計画	<p>電子書籍については、取扱に関する検討を継続する。</p> <p>分館における資料収集については、平成28年5月末までに見直しを行い、今後は年度毎に更新する。</p>				
内部評価					
<p>図書館資料収集方針及び分館における資料収集については、計画どおりの進捗であった。</p> <p>一方で電子書籍については、検討は行ったものの今後の方針を示すまでには至らなかったため、B評価とする。</p>					B
外部評価					
<p>・資料収集方針については、ほぼ計画どおりに進捗していると判断する。電子書籍については十分に調査のうえ検討され、早急に実施されることを望む。</p> <p>・分館ごとに収集に関する考え方を整理したことは評価できる。電子書籍については慎重に討議を重ねてほしい。</p> <p>・資料収集は図書館の専門性が問われるところ。充実した資料収集をめざして、財源確保も含め取り組んでほしい。</p> <p>・予算削減の見直しをしない限りは、充実にはほど遠い</p>					A : 0 B : 3 C : 2 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	電子メールによるレファレンスサービスを実施し、利用者への図書館サービスの充実と利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討				
	システム対応	電子メールによるレファレンスサービス			
平成 27 年 度					
計画	関係各課の検討内容を整理し、受付から回答までの業務の流れについて、館全体の運用方針(事務要領)を定め、平成27年10月の実施を目指す。 また、レファレンス事例の活用についても、検討を進めていく。				
取組状況	他の政令市立図書館の取り組み状況や事例などの調査を行い、当館の各部門における課題を確認しながら検討を進めてきたが、受け付ける対象者や内容などを含めた運用方針の策定が遅れた。				
平成 28 年 度					
計画	平成28年6月に運用方針を策定し、平成28年7月から実施。実施後は事例の分析などを進め、必要に応じて運用方針の見直しを行っていく。				
内 部 評 価					
運用方針の策定が遅れたことにより、平成27年度内の実施に至らなかった。					C
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・早急実施、またその充実を望む。 ・早急に運用方針の策定を進めてほしい。 ・実施に至らなかったことは残念。早急に取り組みを進めてほしい。 ・電子メールによるレファレンスサービスは必須のサービスであるが、これまでの取り組み方が弱い。 ・実施されていない。 					A : 0 B : 0 C : 5 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	情報提供の充実				
事業計画	ビジネス支援や子育て支援などの課題解決に対して、本市関係部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示等の情報提供などを行っていきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	計画	ビジネス支援等の情報提供			
平成 27 年 度					
計画	高齢者問題(介護, 認知症)や就労について、保健福祉局やふくふくプラザ, 経済観光文化局等と連携し、関係する相談窓口や講座等の案内などの情報提供を合わせて行う企画展示を実施する。				
取組状況	介護問題や認知症, 働き方やエネルギー問題などについて、本市関係部局と連携し、図書館資料の展示だけでなく、相談窓口や市の事業, 新たな制度などの情報提供を行った。 また、医療情報の提供に特に力を入れ、がん情報コーナーの設置や九州がんセンターの協力を得て、がん講演会を開催し、市民84名の参加を得た。				
平成 28 年 度					
計画	ビジネス支援や子育て支援などの課題解決に対して、本市関係部局及び国・県等関係機関と連携を図り、引き続き図書館資料を活用した情報提供の充実を図る。 なお、平成28年4月から福岡県中小企業診断士協会と連携し、ビジネス支援として中小企業診断士による「起業・経営相談会」を毎月開催予定。				
内 部 評 価					
全体の3割以上の展示において、本市関係部局と連携し、相談窓口や市の事業, 新たな制度などの情報提供を行い、一部分館においても同様の情報提供を実施した。また、がん講演会については、参加者の8割以上から好意的な評価をいただいた。 ビジネス支援についても、中小企業診断士による「起業・経営相談会」の平成28年度からの開催計画を作成した。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・市関係部局と連携し、いろいろな情報提供, また講演会については好評を得ることができ、計画は達成と判断する。今後も情報提供の充実を期待する。 ・多岐にわたる情報提供はたいへん素晴らしい。今後もっと魅力ある内容を検討してほしい。 ・講演会, 相談会の実施については評価したいが、その後の問題解決に図書館資料をどう活用し、つなげていくかというところまで、丁寧に支援サービスを進めてほしい。 ・図書館ホームページのリンク集の充実が待たれる。 					A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	ホームページの複写サービス				
事業計画	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、同資料を収集し、複写サービスを提供します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	試行	ホームページ等の複写サービス			
平成 27 年 度					
計画	平成27年4月1日より各分館も含め、試行を踏まえて改善を加えたサービスの提供を開始し、引き続きサービスを継続する。 ※平成27年4月1日より各分館においても提供を開始。				
取組状況	平成27年4月1日より各分館においても複写サービスの提供を開始し、利用者の利便性向上を図った。				
平成 28 年 度					
計画	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、引き続き複写サービスを提供する。				
内 部 評 価					
平成27年4月1日より各分館においても複写サービスの提供を開始したことにより、利用者の利便性向上が図られており、利用者数も前年より3割以上増加したため計画通りの進捗状況である。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・複写サービスについてはすでに実施されており、計画どおりと判断する。さらなる利用増加を期待する。 ・利用者数の増は評価できる。さらなる工夫を重ねてほしい。 ・計画どおりにサービスが開始され、利用者も増加したことを評価する。 ・ホームページのリンク機能が不十分であることを認識してほしい。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	無線LAN環境の整備				
事業計画	利用者の調査・研究の補助として、個人持ち込みの端末機器(ノートパソコン、タブレット、スマートフォン等)が利用できるよう、公衆無線LAN「Fukuoka City Wi-Fi」によるインターネット環境を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。 なお、分館については、施設管理者と検討を進めます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 協議 ➤				
	◇総合		◇分館 (1館)	◇分館 (3館)	◇分館 (3館)
平成 27 年 度					
計画	平成27年度になってから、総合図書館内のWi-Fi環境において、一部不安定な電波環境が見つかったことから、アクセスポイントの最適な配置について検討し、対応していくこととしている。 また、分館の無線LAN環境整備については、平成28年度に東図書館が移転開館する香椎副都心公共施設内において、施設を所管する市民局とWi-Fi導入について協議を進めていく。				
取組状況	総合図書館内において、Wi-Fi電波が一部不安定だったエリアについて、アクセスポイントを調整することで改善を行った。 平成28年6月4日に供用開始する香椎副都心公共施設内の東図書館部分にも無線LAN環境を整備することについて、市民局と協議を行った。				
平成 28 年 度					
計画	市民局と協議を進め、東図書館内における無線LANサービスの導入、平成29年度以降の他の分館への順次導入を目指す。				
内 部 評 価					
計画どおり、総合図書館内の無線LAN環境の改善を行った。平成27年度のアクセス数は一日あたり455回(平成26年度は354回)と、約28%増加している。東図書館への導入については協議を進めているものの、平成27年度内の結論に至っていない。					B
外 部 評 価					
・分館の環境整備も早急な実施を期待する。 ・すべての分館に無線LAN環境を整えてほしい。 ・今後も協議検討を重ね、できるだけ早く環境整備を進めてほしい。 ・分館を含めて、更に導入を進めてほしい。					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	図書館利用が困難である施設入所者等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。団体貸出先については、高齢者施設や病院などに広報活動を行い、貸出先を拡充。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討	団体貸出先の拡大			
平成27年度					
計画	配本計画を、平成26年度までの週4日(火～金曜日)から週5日(月～金曜日)に見直し、配本方法の効率化などに努め、見直しを図りながら新規団体の受入体制を整える。広報活動の一環として、「青い鳥だより」を発行し、新規団体の増加・貸出先の拡大を図る。				
取組状況	団体貸出先は17団体の新規申請があった一方で活動停止が10団体あり、平成27年度末で平成26年度に比較して7団体増加の356団体となった。配本計画を週5日(月～金曜日)に見直し配本対象の増加への対応に努めたが、配本方法の工夫など更なる効率化には一部着手できなかった。また学校図書館支援センターの稼働に伴う配本の増加もあり、今後増加が見込まれる新規団体の受入体制を整えるまでには至らなかったため、積極的な新規団体募集は行えなかった。「青い鳥だより」の発行を再開し、平成27年8月と11月に登録団体へ配布した。				
平成28年度					
計画	団体貸出先の計画的な拡大を図るため、留守家庭子ども会に関する配本方法の更なる効率化に取り組む。平成28年度上半期に検討し、下半期に登録団体(留守家庭子ども会)への周知を行い、平成29年度より実施を目指す。「青い鳥だより」については、年3回の発行を予定しており、貸出先増加のためのツールとして活用を検討する。				
内 部 評 価					
団体貸出先は7団体増加し、配本計画の見直しと「青い鳥だより」発行については計画通り実施したが、配本方法の更なる効率化については検討が不十分で実施できず、「青い鳥だより」も広報活動に十分活用できなかったことから、積極的な団体貸出先の増加が図れなかったためB評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・団体数は増加しているが、広報や配本方法の効率化についての更なる工夫や検討が必要である。 ・団体増は評価できる。配本方法の更なる効率化に努めてほしい。 ・図書館利用が困難な施設や団体に対する貸出を進めてほしい。また子どもの貧困が社会的な問題となっており、なかでも貧困と子どもが獲得する言葉の力は比例するといわれる。子どもの団体に関しては、丁寧に話し合いながら進めてほしい。 ・高齢者施設、病院等への貸出が不足しているのではないか。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	公民館等の読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、図書コーナー(室)の運営や環境整備への助言や支援等を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		協議	公民館等への支援		
平成 27 年 度					
計画	公民館や留守家庭子ども会等と協議し、支援に関するニーズを把握する。				
取組状況	<p>公民館や留守家庭子ども会等との協議は実施できなかったが、地域文庫交流会についてこれまでの意見交換の場から、要望が多かった実用性重視の講習を加え内容を見直して平成28年3月10日に開催し、14団体20名が参加した(平成26年度は8団体16名)。</p> <p>また、教育委員会生涯学習課が例年実施している公民館等を対象としたアンケート形式の調査を活用して、公民館等の読書活動に関する情報やニーズの把握に努めた。</p>				
平成 28 年 度					
計画	<p>平成27年度に実施した地域文庫交流会でのアンケートの結果及び公民館等対象のアンケート調査結果を踏まえ、今後の公民館等の読書活動への支援についてさらに検討し、取り組みを進める。</p> <p>留守家庭子ども会への支援としては、「青い鳥だより」などの広報活動により情報面の支援を行う。</p>				
内 部 評 価					
<p>地域文庫交流会について、これまでの意見交換及びアンケートに加えて実施することで内容を充実した。支援に対するニーズの把握については、関係部署との協議などに努め、既存のアンケート形式の調査を活用したが、公民館や留守家庭子ども会等との協議までには至らず、不十分となったことから、C評価とする。</p>					C
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等との協議には至っておらず不十分であると判断する。 ・公民館や留守家庭子ども会等との協議を進め、支援に努めてほしい。 ・各公民館に設置されたスタンバード文庫等がきっかけとなり、地域での読書活動が今後展開されていく可能性は高い。ぜひ関係機関との連携を図り、充実した支援につなげてほしい。 ・事業計画実現に向けて更に検討し、努力してほしい。 					<p>A : 0</p> <p>B : 0</p> <p>C : 5</p> <p>D : 0</p>

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力			
内容	議会図書室との連携					
事業計画	議会図書室と連携し、議会における政策、立案等の調査・研究を支援します。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	協議	議会図書室との連携				
平成 27 年 度						
計画	平成26年度から引き続き議会図書室への図書資料の貸出による支援を継続実施する。また、今後は更なる利用者の増加について、議会図書室と連携を深め周知を図っていく。					
取組状況	平成26年度から引き続き議会図書室への図書資料の貸出による支援を実施した。平成27年度の貸出件数は39件、貸出冊数は59冊で、議会図書室の貸出件数及び貸出冊数の1割以上を占めている。ただし、議会図書室と連携しての周知は不十分だった。					
平成 28 年 度						
計画	市内部への周知に努め、引き続き議会図書室への図書資料の貸出による支援を実施する。					
内 部 評 価						
議会図書室への図書資料の貸出により、貸出冊数等は評価できるが、広報について不十分なため、B評価とする。					B	
外 部 評 価						
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き議会図書室への貸出支援を行い、更なる利用増に向けて広報に努めていく必要がある。 ・市内部への周知に努め、議会図書室の充実に努めてほしい。 ・図書資料の貸出だけではなく、より充実した支援につながるサービスも工夫、検討してほしい。 ・市議会議員への広報活動を積極的に行ってほしい。 ・議員のニーズ把握等、積極的な対応が必要。 					A : 0 B : 4 C : 1 D : 0	

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市施設の図書室との相互協力				
事業計画	少年科学文化会館及びふくふくプラザなどとの連携, 相互協力化を検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討, 協議			連携
平成 27 年度					
計画	相互協力化については, 各施設のシステム統合が前提条件となることから, 引き続き協議を行う。 ※ふくふくプラザについては, 平成27年4月1日よりふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室カウンター窓口にて返却受付開始した。また, 同年8月1日より, ふくふくプラザ1階入口付近に返却ポストを設置する予定である。				
取組状況	相互協力化は, 各施設のシステム統合を前提に協議を進めたが進展しなかった。 連携については, ふくふくプラザについて, 平成27年4月1日よりふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室カウンター窓口において返却受付を開始し, 同年8月1日より, ふくふくプラザ1階入口付近に返却ポストを設置した。 ・平成27年度の利用実績は, 5,780冊 また, 少年科学文化会館について, 移転後も連携を継続できるよう協議を進めた。				
平成 28 年度					
計画	各施設のシステム統合については事業費等課題が多く, 実現が困難なことから, 現システムを活用しての相互協力について, より利用しやすい運用について協議を行う。また, 少年科学文化会館の移転後の連携継続についても, 引き続き協議を行う。				
内 部 評 価					
相互協力について, 計画どおりにシステム統合に関する協議が進捗しなかったため, C評価とする。					C
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・前提条件であるシステム統合についての進捗がなく, 不十分であると判断する。 ・ふくふくプラザに返却ポストを設置したことは評価できるが, より利用しやすくなるように, 他の施設との協議を積極的に進めてほしい。 ・相互協力化のために必要なシステム統合だが, 事業費等の問題で実現困難となったことは残念。さまざまな可能性を模索しながら, 相互協力の体制を作ってほしい。 ・システム統合を行い, 貸出を行えるようにしてほしい。 					A : 0 B : 0 C : 5 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	モデル児童図書目録の配布			
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	幼児用 作成	◇配布 小学生用 計画	初級(1・2年生) 検討, 協議	作成
				◇配布 中級(3・4年生) 検討, 協議
	中級(3・4年生用)は平成33年度, 上級(5・6年生)は平成36年度に配布予定			
平成27年度				
計画	平成26年度に作成したリスト(モデル児童図書目録)を4月に配布し、利用者のリスト活用を促していく。 ※平成27年4月に関係機関(総合図書館, 分館, 保育園, 公民館等)へ配布した。			
取組状況	平成27年3月に発行したモデル児童図書目録(幼児用)を保育園や公民館等に配布し、また、こども図書館内に、モデル児童図書目録に掲載した図書の展示コーナーを設置して、利用者の閲覧や貸出を促すように努めた。 現行の幼児用, 初級, 中級, 上級のモデル児童図書目録について、問題点や課題について検討を行った。			
平成28年度				
計画	モデル児童図書目録の配付や掲載図書の展示を継続して行う。 現行モデル児童図書目録の作成方針について、関係団体と協議のうえ、見直しを検討する。			
内部評価				
モデル児童図書目録の掲載図書展示コーナーを設置し、モデル児童図書目録を配布した。 ただし、現行のモデル児童図書目録について、問題点や課題の検討を行ったが、1部門に3年, 4部門で12年サイクルという作成期間の是非など見直しの方向性も定まらなかったためB評価とする。				B
外部評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・早急に目録見直しの方向性を定めることが必要である。 ・目録の問題点や課題の検討を行い、より一層積極的に子どもへの読書普及に努めてほしい。 ・計画どおり作成, 配布したことは評価したいが、冊数が非常に少なく、必要とする保護者, 子どもの手元に必ずしも届いていない状況を耳にする。要望の高い目録であるので、ぜひ多くに届けられるよう検討してほしい。 ・検討を含めて努力されていることは評価できるが、見直しの方向性を示してほしい。 				A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	新一年生への貸出カードの付与				
事業計画	新一年生のうち図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードを付与することにより、読書の普及等を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討, 協議	貸出カードの付与		
平成 27 年度					
計画	素案の作成に着手し、教育委員会指導部と検討・協議しながら、平成28年度における実施に向けて作業を進める。				
取組状況	素案の作成における検討過程で、個人情報取扱の観点から、当初に計画していた貸出カード付与から貸出カード作成案内の配布に変更し、指導部及び教育支援部生涯学習課と協議しながら、新一年生を対象として生涯学習課が作成する推薦図書リストの配布と併せて案内を平成28年度(4月予定)に配布できるように準備作業を進めた。				
平成 28 年度					
計画	平成28年4月に、生涯学習課が作成する新一年生(約1万4千人)を対象とした推薦図書リストの配布と併せて、貸出カードの作成に関する案内文書を小学校新一年生の保護者に対して配布する予定である。また、平成29年4月の中学校新一年生に対する案内についても協議を進める。				
内 部 評 価					
当初計画の課題を見出し、「貸出カードの付与」から「貸出カード作成案内の保護者への配布」に変更したものの、子どもへの読書普及は進捗したことから、B評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・貸出カード付与については取り組みが不十分であると判断する。 ・個人情報取り扱いの問題はあると思うが、もう少し柔軟に対応できないのか。 ・「貸出カードの付与」又は「本のプレゼント」といった企画が全国のあちこちで実施されている中、福岡市においては難しいという結果に至ったことは残念。子どもの貧困が社会問題となっているが、公立図書館として、子どもと本をどのようにつないでいくか、更に検討してほしい。 ・貸出カードの入手までの流れがわかりやすく説明されているのか？ 					A : 0 B : 3 C : 2 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への広報活動の強化				
事業計画	総合図書館内にヤングアダルトコーナーを設置し、推薦図書の展示等を実施するとともに、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストを作成・配布することで、読書普及のための広報を実施します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	継続的に広報の強化				
平成 27 年 度					
計画	ヤングアダルトコーナーの設置や推薦図書に関するリストの配布など従来の対応を継続することに加え、ヤングアダルト層に対する広報活動として強化できる企画を立案し、実施に向けて作業を進める。				
取組状況	従来の対応を継続したことに加え、ヤングアダルト層に対する広報活動として、市立高等学校図書委員による推薦図書やPOPの展示を実施した。				
平成 28 年 度					
計画	従来の対応を継続することに加え、他の政令指定都市立図書館の取組等を参考に、ヤングアダルト層に対する広報活動を充実する企画を立案し、実施に向けて作業を進める。				
内 部 評 価					
市立高等学校図書委員の協力を得るなど、昨年度の外部評価「ヤングアダルト層自身の力や知恵を借りた取組みも必要である」などを参考に、計画どおりに企画立案のうえ進捗しているものの、ヤングアダルト層のニーズ把握など不十分な点もあることから、B評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・更なる読書普及のためには、広報活動の改善、読書に対するニーズ把握が必要である。 ・中学校にも活動を広げてほしい。ニーズについての分析や広報には工夫が必要である。 ・ヤングアダルト世代に対する新たな取り組みを実施したことについては評価する。今後も様々な可能性を見つけ、市民とつながる取り組みを作ってほしい。 ・市立中学校の図書委員にも参加を要請してほしい。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	読書活動ボランティア講座の強化			
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	準備	初心者向け講座の実施		
	準備	経験者向け講座の実施		
平成27年度				
計画	初心者向け・経験者向け講座を実施する(初心者向けは5月から実施中。経験者向けは9月以降を予定)とともに、講座受講者に対し、地域の読書活動サークルを紹介する等、読書活動の場に関する情報提供を行う。			
取組状況	平成27年5月～7月に初心者向け講座(4日間, 100名)を実施し、平成27年9月～10月に経験者向け講座(4日間, 44名)を実施した。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。			
平成28年度				
計画	平成28年5月～6月に初心者向け講座を、平成28年9月～11月に経験者向け講座をそれぞれ実施する。また、経験者向け講座については、平成29年2月に反復練習のためのおさらい会を実施する。講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布する。			
内部評価				
計画通りに進捗しているためA評価とする。				A
外部評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに進捗していると判断する。 ・今後、ボランティアによる活動が更に深まり、広がるように、活動の具体化、実行をすることが重要である。 ・充実した内容の講座であるとの声を耳にする。読書ボランティア育成の場はあまり多くはなく、要望は多い。今後とも継続して、ボランティアの支援をお願いしたい。 ・講座受講者の活動を支援してほしい。 				A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援			
内容	学校図書館支援センターの設置					
事業計画	総合図書館内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館への人的・物的支援を行います。 ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 学校図書館支援センターについては、学校指導課と連携して、学校図書館を支援していきます。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	準備	学校図書館への支援				
		図書の配送				
	ホームページ運用					
平成27年度						
計画	平成27年4月1日より本格実施を開始し、4月から、学校図書館についての相談業務と、要請があった学校へ赴きその学校の図書館の課題・改善策等を共に検討する要請訪問を実施する(4月から実施中)。5月からは、福岡市内の、司書が未配置の市立小・中学校へ定期的に訪問する計画訪問を実施する(5月から実施中)。また、9月から、調べ学習をはじめ児童・生徒が学習活動で活用するための図書の貸出を開始する予定である。 ホームページについては4月より開設、以降必要に応じてコンテンツを拡充していく(4月から開設中)。					
取組状況	平成27年度に実施した学校訪問については、要請訪問22校・計画訪問20校で合計42校訪問した。9月から開始した小学生用の学習支援用図書貸出については、累計33校から利用があり、936冊貸出した。ホームページについても、4月より開設し、必要に応じてコンテンツを拡充した。					
平成28年度						
計画	平成28年4月より、総合図書館の資料や端末を利用して、館内で調べ学習などの授業を行う図書館学習を新規に実施する。学校訪問については随時要請訪問に応じるとともに、月1~2校を目標に計画訪問を実施する。学習支援用貸出については、平成28年9月より中学生用の学習支援図書貸出を実施する。					
内部評価						
計画通りに進捗しているためA評価とする。					A	
外部評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに進捗していると判断する。 ・今後、計画訪問数を更に増やし、児童生徒の図書館利用につながるようにしてほしい。 ・学校図書館支援センターからの専門的な指導・助言また図書貸出サービスについて、非常に高い評価を耳にする。今後、支援センターの存在が浸透するにつれ、さまざまな支援が求められると考える。質の高い支援が続くことを期待する。 ・今後も計画どおりに進めてほしい。 					<p>A : 5</p> <p>B : 0</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>	

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の強化		
内容	図書館外施設でのアジア映画上映事業				
事業計画	総合図書館が収蔵するアジア映画の作品を、図書館以外の市の施設で上映し、フィルムの有効化を図るとともに、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討、協議				
	アジア映画上映				
平成27年度					
計画	<p>上映作品は、なるべく最近収蔵した作品と考え、昨年の福岡観客賞を受賞した「ジャングル・スクール」(インドネシア)で著作権処理の話がまとまり、現在はポスター・チラシ・チケット等の話を進めている。</p> <p>事業の名称:「こんにちは シネラです。」</p> <p>開催日時 :平成27年10月12日(月・祝) 1回目11時～、2回目14時～</p> <p>会場 :博多市民センター(ホール)</p> <p>入場料 :有料(大人:500円, 大学生・高校生:400円, 中学生・小学生:300円)</p> <p>※総合図書館映像ホール・シネラでも同額で上映</p>				
取組状況	館外上映を行うため著作権者の承諾を得、映写機材の手配、搬入を行い、計画どおり上映会を2回開催し、65名の入場者を迎えることができました。				
平成28年度					
計画	<p>事業の名称:「こんにちは！ シネラです」</p> <p>開催日時:平成28年11月13日(日)予定</p> <p>会場:なみきスクエア(東市民センター)・ホール</p> <p>※平成28年6月4日に新たな東図書館とともに供用開始されるホールで、開館記念として上映会を計画。</p>				
内部評価					
博多区生涯学習推進課と連携して、各校区の自治協議会や公民館へ上映会の開催についてお知らせを行うなど広報に取り組んでいたが、入場者目標100名に対し65名の入場者にとどまってしまったため、B評価とする。					B
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・入場者数が目標に達していないことについては、広報の改善、上映内容の検討も必要である。 ・もっと広報に取り組み、今後市内のいろいろな場所で実施してほしい。 ・市内のいろいろな場所で上映してほしい。 ・入場者数の目標数に近づけるための広報活動の充実に期待する。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の強化		
内容	広報活動の強化				
事業計画	総合図書館が収蔵するアジア映画等のポスターを、1階ショーケース等において展示し、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	ポスターの展示				
平成 27 年 度					
計画	<p>○平成27年7月15日～8月2日まで開催する「トルコ映画特集」で、上映する9作品の映画ポスターを1階ショーケースを利用して7月1日～30日まで展示を行う。</p> <p>○平成27年9月18日～25日まで開催される「アジアフォーカス・福岡国際映画祭2015」で、上映作品の映画ポスターを1階ショーケースを利用して、8月24日～9月30日までの間展示を行う。</p> <p>○昨年の11月に亡くなられた映画俳優・高倉健さんの映画上映会(11月開催)にあわせ、1階ショーケースやシネラロビーを利用して、収蔵している高倉健さんの映画ポスター等の展示を行う。</p> <p>※シネラで上映している映画のチラシやパンフレットを展示している。また、5月の「小津安二郎監督特集」では、ビデオライブラリーに収蔵している中から小津安二郎監督の本3冊をシネラロビーに展示し、入場者の方に見てもらった。</p>				
取組状況	<p>特別企画上映時にはショーケースを利用して映画ポスターの展示を行い、通常上映時にはシネラロビー内に映画ポスター・チラシの展示を行った。</p> <p>さらに、福岡市博物館で開催された「開館25周年記念世界記憶遺産・山本作兵衛の世界～記憶の坑道～」と連携した特別企画「炭鉱の記憶」の上映や関連書籍の展示を行うなどのタイアップ事業も実施した。</p>				
平成 28 年 度					
計画	<p>○平成28年6月8日～25日まで開催する「アジア映画名作選」に併せて、アジア映画の貴重な映画ポスターを1階ショーケースに展示する。</p> <p>○平成28年7月1日～31日まで開催する「映画で見る名作文学」に併せて、図書部門において、名作文学やその著者に関連する図書を図書館1階の特設コーナーに展示する。</p> <p>○平成28年8月10日～26日まで開催する「ベトナム映画特集」に併せて、ベトナム映画の貴重な映画ポスターを1階ショーケースに展示する。</p>				
内 部 評 価					
<p>映画ポスターは、寄贈され未整理だったものを活用できるように整理を行い、計画通り展示を行うことで広報活動に役立てることができた。</p> <p>さらに、福岡市博物館の展覧会との協力企画により、同じ「炭鉱」をテーマにした映画の特別上映や関連図書の展示を行うことで、相乗効果による約4,000人の入場者(1回上映当たり79人)を迎えることができたことからA評価とする。</p> <p>※平成27年度上映1回当たりの平均入場者数は61人。</p>					A
外 部 評 価					
<p>・計画どおりに進捗していると判断する。更なる強化を期待する。</p> <p>・入場者数の点では評価できるが、もっと広報を工夫してほしい。夜の上映や、アジア美術館との連携等に取り組んでほしい。</p> <p>・博物館との協力企画の実施は評価する。アジア美術館等、市の他の施設との協力の可能性も検討してほしい。</p> <p>・ポスター展示は計画を推進してほしい。</p>					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化				
事業計画	総合図書館ホームページを活用し、インターネットによる情報提供の充実を図ります。 また、保存期間満了の福岡市作成の公文書のうち、歴史的公文書として残す資料の選出や関係課との移管協議文書作成など、収集に係る事務手続き及び検索について、システム化を図ります。 ・歴史的公文書目録検索 ・現在マイクロフィルム撮影にて複製保存している歴史的公文書の一部デジタルデータ化 ・公開できる歴史的公文書をデジタルデータにて公開 ・歴史的公文書管理システムの構築 ・公文書検索のシステム化				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	データ化 目録掲載	デジタルデータ化検討		デジタルデータ化	
	システム化 業務分析	協議	システム検討		公開 運用
平成 27 年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルデータ化を行うにあたっての技術的な課題や他都市の公文書館の動向について情報収集を行う。 ○関係課とデジタルデータ化を含めた公文書管理のあり方について、引き続き協議を行う。 ○当館ホームページに、平成27年度公文書目録をPDFファイルにて掲載するとともに、全国の主な公文書館等100館へデータDVD目録として送付する。 ○歴史的公文書展示に際し、パソコン、デジタルフォトフレームを使い、展示内容の紹介を行う。また、そのデータは、デジタルアーカイブ素材として保存していく。 ○公文書収集に係る事務手続作業の業務分析を行い、作業効率化のためのシステム化を検討する。 				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルデータ化の技術的課題の検討を行い、保存形式等の基本的な方針を決定した。 ○平成27年度公文書目録について、PDFファイルをHP掲載するとともに、データDVDを全国の公文書館に送付した(DVD送付は平成27年度で終了)。 ○「今昔福岡市」「動物園開園の歴史」をテーマに歴史的公文書の展示を行い、一部資料をデジタルデータ化して展示(PCで閲覧等)するとともに、展示概要のしおりをHP公開した。(入場者数計2,864人) ○歴史的公文書管理のシステム化について、市文書管理システムとのデータファイルによる連携の処理手順・マニュアルを作成した。 				
平成 28 年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルデータ化について、経費に係る調査検討を行うとともに、他公文書館の対応状況の調査を行う。 ○デジタルデータの提供のあり方(閲覧方法、利用料金、HP公開基準)について、関係課と協議を行う。 ○引き続き、歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。 ○市文書管理システムとのデータファイルによる連携について、アクセス等のソフトによる実地検証を行うとともに、電子決裁文書の移管等について関係課と協議検討を行う。 				
内 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルデータ化及びその提供のあり方については、今後も全館的な調査・検討が必要。 ○公文書目録のHP掲載により、当館が収集・保存する資料を市民が活用しやすくなった。 ○歴史的公文書の展示は、入場者も増加している。また、デジタルデータ化した資料の展示により、内容充実及び理解促進が図られ、当館の公文書館機能についてアピールできた。 ○電子決裁文書の移管等については、関係課との協議が進んでおらず、引き続き協議を行う必要がある。 					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデータ化が進み、システムがスムーズに運用されることを期待する。 ・公文書のデジタルデータ化は今後ともぜひ進めてほしい。 ・調査、協議を重ねながら、デジタルデータ化、システム化を進めていることを評価する。今後も継続して、丁寧に進めてほしい。 ・これからは電子決裁文書の増加が予想されるので、引き続き協議を進めてほしい。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化			
内容	古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化					
事業計画	福岡の歴史に係わる古文書資料や郷土資料等のデジタルデータを作成し、情報提供の充実を図ります。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	検討, 準備		試験撮影			
平成 27 年 度						
計画	<p>○平成27年度に収集する古文書資料約2,000点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録21』に掲載する事業と並行して、色刷りのものなど、カラー撮影が望ましい資料を選んで、試験的にデジタルカメラで撮影し、デジタルデータ(JPEG形式)を作成する。</p> <p>○カラー出力時の課題が発生しており、他館でのデジタルデータの公開状況の出張調査を行い、実見および聞き取り等により、原因と改善策を検討する。</p> <p>○デジタルライブラリー等に関する研修・講演会等に参加し、必要な基礎知識の蓄積・充実に努める。</p> <p>○目録およびデジタル化した資料データを、HP上で公開するための準備を行うとともに、引き続き、公開に必要なHP容量確保のための協議を進める。</p>					
取組状況	<p>○平成27年度に収集した古文書資料2,152点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録21』に掲載したのと並行して、色刷りのものなど、カラー撮影が望ましい資料を選んで、試験的にデジタルカメラで撮影し、デジタルデータ(JPEG形式)240点を作成した。</p> <p>○カラー出力時の課題については、出力紙の色味を再検討し、プリンターを変更して、種々のサンプルを作成した。</p> <p>○国立国会図書館主催研修など、デジタルライブラリー等に関する研修・講演会等に職員・嘱託員4名を参加させ、必要な基礎知識の蓄積・充実に努めた。</p>					
平成 28 年 度						
計画	<p>○平成28年度に収集する古文書資料約2,000点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録22』に掲載する事業と並行して、デジタルカメラでの試験撮影を行う。</p> <p>○目録およびデジタル化した資料データを、HP上で公開するための準備を行うとともに、引き続き、公開に必要なHP容量確保のための協議を進める。</p>					
内 部 評 価						
<p>○デジタルデータ(JPEG形式)240点を作成し、データの蓄積を進めた。</p> <p>○出力紙やプリンターの選択を工夫することで、カラー出力時の課題を解決した。</p> <p>○研修・講演会等に職員・嘱託員4名を参加させ、必要な基礎知識の蓄積・充実に努めた。</p> <p>○目録およびデジタル化した資料データをHP上で公開するために必要なHP容量確保のための協議は進まなかったため、引き続き粘り強く協議を継続する必要がある。</p>					B	
外 部 評 価						
<p>・デジタルデータ化とともに、更なる基礎知識の蓄積、充実が必要となる。</p> <p>・デジタルデータの作成、蓄積については評価できる。</p> <p>・情報提供の充実は待たれるところである。今後も研修を重ね、適切な作業を確実に進めてほしい。</p> <p>・デジタルデータ化を進めるうえで、ホームページの容量を拡大することが欠かせない。</p>					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0	

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	福岡市文学館の利用拡大				
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、福岡市文学館サテライトである赤煉瓦文化館との連携を図りながら、事業充実及び広報強化により、文学館全体の利用拡大を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	企画展の開催				
広報強化					
平成27年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文学館事業が総合図書館と赤煉瓦文化館を使って実施している事業であることの周知を図るため、総合図書館HPでの文学館紹介ページに工夫を加え、わかりやすく変更する。 ○文学館事業として以下の事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展 11月～12月 テーマ「現代詩」 第一会場総合図書館ギャラリー、第二会場赤煉瓦文化館 ・赤煉瓦夜話、読書講座等の文学講座、企画展関連講演会 ・共催事業「NHK平和アーカイブス展」(NHK広島放送局との共催:総合図書館ギャラリー) 市民公開講座「モダンの文学、モダンなアジア」(科学研究費補助金研究代表者との共催:赤煉瓦文化館) 				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○常設展示の案内を新たにHPに掲載したが、文学館事業のわかりやすい説明までには至っていない。 ○文学館事業として、以下の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「多くの音／声(ホリフォニー)の饗宴ー福岡の詩1945-1965」 H27.11.6(金)～12.13(日)、入場者数2,500人 ・復刊本制作 福岡市文学館選書3「那珂太郎はかた随筆集」 販売数239冊(選書1, 2の販売冊数も含む) ・NHKとの共催による「NHK平和アーカイブス展」及び小企画展、常設展示、文学館倶楽部発行 ・企画展関連イベント、読書講座、赤煉瓦夜話、共催事業等の文学講座 17回 参加者数426人 				
平成28年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○総合図書館HPの文学館紹介ページに工夫を加えわかりやすくするとともに、公開している資料目録を掲載し、活用を図る。 ○文学館事業として以下の事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展 11月～12月 テーマ「俳人竹下しづの女と息子龍骨」第一会場総合図書館ギャラリー、第二会場赤煉瓦文化館 ・企画展開催期間以外は、常設展示を開設 ・赤煉瓦夜話、読書講座等の文学講座、企画展関連講演会 				
内部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ○企画展とは別に、共催による展示や小企画展を実施した。 ○企画展入場者数、講座等の参加者数ともに減少してはいるが、展示・講座で実施したアンケートで回収した総数約300件のうち、80%以上が満足しており、高い評価を得ている。 ○ホームページへの取り組みが不十分であり、今後、わかりやすい文学館紹介ページを作成していく必要がある。 					C
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数減少の原因分析が必要である。内容の見直しが必要なのではないか。文学館の認知度を高める必要がある。 ・企画展の開催前にもっと多方面に広報し、市民に情報を伝えてほしい。 ・参加者数の減少は残念だが、質の高い企画内容の継続については評価したい。広報の工夫を更に検討し、市民に認知されるよう、様々な可能性を探ってほしい。 ・努力の割には参加者数が少ないのはなぜか？その分析をしないと努力が無駄になる。 					A : 0 B : 0 C : 5 D : 0

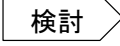
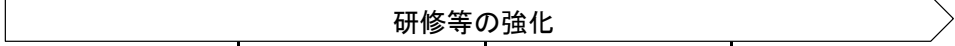
平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法(民間活力の導入)の検討				
事業計画	図書館サービスの向上を図るため、指定管理者制度などの民間活力の導入を含めた運営方法について検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討・準備	公募・選定	総合(建物管理のみ)		
			東(運営)		
平成27年度					
計画	平成28年度からの指定管理者制度移行のため、外部委員からなる「福岡市総合図書館に係る指定管理者選定・評価委員会」を設置し、総合図書館、東図書館それぞれ公募を行い、平成27年12月議会で指定管理者の指定を行うことができるよう、必要な準備作業を進めていくとともに、福岡市総合図書館条例施行規則の一部改正を行う。 また、指定管理者へ移行する業務が滞りなく遂行できるよう、確実な引き継ぎ等を行っていく。				
取組状況	総合図書館、東図書館それぞれ公募を行い、平成27年12月議会で指定管理者の指定を行った。 開館時間について必要な規則改正を行い、総合図書館については平成28年4月1日付の指定に向けて基本協定、実施協定の締結を行うとともに、業務の引き継ぎを行った。東図書館については平成28年6月4日付の指定に向け、指定管理者と基本協定締結についての協議を行った。				
平成28年度					
計画	東図書館について、平成28年6月4日付の指定に向けて基本協定、実施協定の締結を行うとともに、業務の引き継ぎを行う。 また、総合図書館、東図書館について、指定管理業務を適切に実施しているか、提供されるサービスの水準が要求を満たしているかなど、指定管理者が行う業務の実施状況に対するモニタリング(実地確認や定期実地調査などによる点検)を実施し、点検の結果、必要に応じて改善指示や指導を行うとともに、平成28年度業務の評価に向けての調査記録をまとめていく。				
内部評価					
事業計画にあげている総合図書館、東図書館については、指定管理への移行に向けた必要な準備を行った。					A
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに実施されていると判断する。 ・指定管理への移行は順調に進んでいる。今後はモニタリングを実施し、よりよい運営を行うよう努めてほしい。 ・全国的には指定管理者制度の弊害もあるという意見も聞かれる。図書館の専門性の低下を招くことのないよう、しっかりとした検証をお願いしたい。 ・民間活力導入後の業務の評価を適切に行う必要がある。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため、図書館ボランティアとの共働を推進します。 ・図書館ボランティアの養成 ・学生のインターンシップの導入				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討・準備		ボランティア・インターンシップ		
平成 27 年度					
計画	図書館ボランティアの組織づくりや活動範囲の拡大等について検討していく。 また、ボランティア登録時の説明会において、新規ボランティアと継続ボランティア間の連携を図れるような環境づくりも進めていく。 インターンシップ制度の導入については、各部門において検討し、提携する大学等と協議を進めていく。				
取組状況	ボランティアの組織づくりについては、書架整理・書庫の出納・図書修理等を中心とする現在のボランティア制度の運営方法の検討には着手できなかった。新規ボランティアと継続ボランティアの連携については、説明会が毎年4月の年一回であるため、平成28年度の説明会で進めていく。 またインターンシップの受け入れについては、特定の大学等に限定せず、要請に対し各部門においてスケジュール調整のうえ、受け入れを行うこととした。				
平成 28 年度					
計画	ボランティア登録時の説明会において、今後の連携を図ることを目的に、活動経験やアドバイスなどをテーマとした新規ボランティアと継続ボランティアの懇談会を実施する。 ボランティア活動の運営方法については、ボランティア活動に従事いただいている登録者の意見をアンケートやヒアリングなどにより聴取のうえ、検討していく。 インターンシップについては、福岡市インターンシップ研修生(市人事部が窓口)の受け入れを行う。				
内 部 評 価					
新規ボランティアと継続ボランティア間の連携を図るための環境づくり、インターンシップ受け入れの準備は進めたものの、現在の図書館ボランティア制度について、組織づくりという観点からの検討が十分にできていない。					C
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに進捗していない。ボランティアの組織づくりやインターンシップ受け入れ等の対応策を見直す必要がある。 ・組織づくりや管理はボランティア同士で行う方が効率的ではないかと思う。より活躍できるようにしてほしい。 ・他市での様々な実践等も参考にしながら、組織づくりを検討してもいいのではないか。市民にとって身近な図書館となるひとつの大切な入り口ともなり得る。市民との共働の視点で柔軟な取り組みを期待する。 ・ボランティア活動を運営するボランティアの募集を考えてほしい。図書館とボランティアでどのような創造的な活動ができるのかを考えていくべき。 					A : 0 B : 0 C : 5 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。 併せて、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施していくことで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	 検討	 研修等の強化			
平成 27 年 度					
計画	全体研修については、職員全員が参加できるよう月末休館日を利用して、接遇やビジネスマナー、リスクマネジメント、防災等についての研修を実施し、職員の育成を図っていく。 専門研修については、総合図書館各部門ごとに、専門知識や技術向上を目指した研修を実施する。 また、著作権法に関する研修も取り入れることとしている。				
取組状況	全体研修については、接遇やメンタルヘルス、人権、公務員倫理、防災、避難訓練等の研修を8回実施した。 専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣するとともに、区の特色や課題等に関する区役所の出前研修を分館で実施し、区役所と各分館との連携強化を図った。 また、著作権制度の基礎知識の習得のため、国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得に努めた。				
平成 28 年 度					
計画	全体研修については、利用者に対して職責を果たせる福岡市職員、図書館職員となるべく、必要な研修等を実施して育成に努めるとともに、館内業務の情報共有を図り、利用者サービスの向上につなげていく。 専門研修については、平成27年度に引き続き、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣するとともに、高齢者問題や子育て支援等の現代的課題に関する研修を実施する。 また、レファレンスや資料保存、著作権等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
内 部 評 価					
全体研修については、防災避難訓練や外部講師を招いた接遇研修等により、図書館が、安全安心、利用者が心地よいと感じる図書館となるよう計画通り実施した。 分館の職員に対して区役所の出前研修の実施やインターネットによる著作権研修を新たに取り入れるなど、図書館職員の専門知識等の向上を図ることができた。					A
外 部 評 価					
・職員の更なる意識、知識の向上を期待する。 ・主題専門知識を習得し、一人一人の職員の更なる知識、技術向上に期待する。 ・高齢者問題、子どもの貧困の増加等、市民が抱えるさまざまな問題を、公立図書館としてどう捉え、対応していくのが問われる時代。今まで以上に専門的の力が必要となる。専門研修の充実を進めてほしい。 ・主題専門知識の研修が不十分。ホームページのリンク集の充実には欠かせない。					A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場の有料化など、既存施設の有効活用を図ることで、財源確保につながる取り組みを進めます。また、広告収入やスポンサー制度、寄付などによる財源の確保に努めます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成27年度					
計画	平成27年度も、駐車場の有料化に伴う財源確保を継続していくとともに、「ふくおか応援寄付」(ふるさと納税制度)による寄付金制度を開始する。(平成27年4月1日より開始) また、現在行っている広報紙等の印刷物やホームページの広告収入の拡充を図るとともに、雑誌スポンサー制度について、他都市の状況調査などを基に、導入のメリットとデメリットを整理しながら検討を進める。				
取組状況	ホームページのバナー広告や、広報紙製作に必要な広告を計画どおり獲得した他、総合図書館駐車場を閉館時間帯等にも有料開放することで年間で約400万円の収入を確保するとともに、図書購入のための寄付金約60万円をいただいた。また、飲料メーカーの協賛により、エントランスロビーにテーブル・イスのセットを設置した。雑誌スポンサー制度については検討中である。				
計画	ホームページや広報紙の広告を継続して獲得するとともに、駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていく。雑誌スポンサー制度については検討を継続する。				
内 部 評 価					
ほぼ計画どおり、財源確保につながる取り組みを進めてきたが、雑誌スポンサー制度の検討については結論に至っていない。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・限られた中での財源確保には、いろいろな角度からの視点や知識が必要である。 ・財源確保はサービスの向上につながる。雑誌スポンサー制度を検討し、財源確保に努めてほしい。 ・さまざまな方法を検討し、実施していることを評価する。今後も他市の取り組み等を調査しながら、財源確保に取り組むよう期待する。 ・雑誌スポンサー制度の実現に向けて進めてほしい。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

平成27年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	情報発信の推進				
事業計画	子どもから高齢者まで分かりやすく、使いやすいホームページを目指し、充実を図ります。 また、積極的な情報発信としてRSS機能の追加やメールマガジンの配信等を実施し、図書館から積極的な情報発信を行い、図書館利用が少ない層への利用促進を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	<p style="text-align: center;">ホームページの改修</p> <p style="text-align: center;">準備 → メールマガジンの配信</p>				
平成27年度					
計画	学校図書館支援センター等の情報の充実を図るとともに、見やすく使いやすいホームページを目指す。 また、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などの図書館事業を告知するメールマガジンを配信していくための、メールマガジン登録機能の追加を行う。				
取組状況	事業の拡大などに合わせて提供すべき情報を追加、整理し、より分かりやすく使いやすいホームページとするための改修に取り組んできた。 情報の即時性という観点から、メールマガジンを補完するものとしてSNSを活用した情報発信にも取り組むこととしたため、メールマガジンの平成27年度内の配信開始はできなかった。				
平成28年度					
計画	6月からメールマガジンを月1回配信し、図書館事業を積極的に告知していくとともに、SNSによる新着情報の発信にも取り組んでいく。 ホームページについても、必要に応じてレイアウトや操作性の改善に努めていく。				
内部評価					
ホームページ改修については、ほぼ計画どおり取り組んだ。 積極的な情報の発信という点では、メールマガジンだけでは不十分であり、SNSもあわせて活用していくと軌道修正したため、それらの準備に時間を要してしまい、計画どおり、平成27年度内のメールマガジン配信はできなかった。					C
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに実施されていない。情報発信の手段についての知識の強化(セキュリティも含めて)も必要である。 ・ホームページのリンク集を充実させるとともに、メールマガジン、SNSの配信を積極的に進めてほしい。 ・メールマガジン配信については、早急な開始が待たれる。内容も充実したものとなるよう、しっかり検討してほしい。 ・総合図書館のホームページにおいて、「蔵書検索」と同じレベルで、情報を探すというボタンをつくり内容を充実させる必要がある。 					A : 0 B : 0 C : 5 D : 0